

自信を持って 小学校へ！

作成日：2025/2/22
対象児：かえで組5歳児
作成者：小城亜矢子

ねらい：友達と互いに認め合いながら、活動を楽しむ。



振り返り

5月のドキュメンテーションにもした通り、この1年間で園全体のためにと活動してきた年長児。「やらなきゃいけない」から始まった係活動も、友達と一緒に「やってみよう」となり、今では「よし！ぼくに任せて」と自分達がすることと自覚し、自信を持って行動するようになりました。3学期、特に2月はたくさんのイベントがありました。その中で、【節分】「（鬼と）よーし！腕相撲で勝負だ」【作品展】「この作品かっこいいね」【茶道参観日】「お家の人に喜んでもらおう」【テニス参観日】「やった！スーパーショットだね！」と友達と一緒に活動する中で、自分の持ち味をいかしたり、お互いの良さを認めたりする姿が多く見られました。それはこれまでの活動や遊びの中で、共通の目的に向かうために出会った困難や葛藤・喜びや充実感など多様な感情体験から育まれた自立心や協同性の部分だと思います。

小学校就学に向けて、自分で考え抜く力・難しいと感じる事でも挑戦する気持ち・友達と一緒に協力できる事などが育つようにと意識して保育してきました。しかしつい援助しすぎてしまったり配慮が足りなかったなど、ドキュメンテーションの製作を通して、子ども達の姿や自分の保育を再確認しながら反省することもありました。それでも、今の時期にこんな子ども達の姿を見ることができ、嬉しく思います。

もう少しで小学生だと期待に胸を膨らませている子ども達。園生活で経験したことを自信に、残りの園生活を楽しんでほしいなと思います。

（自立心、協同性、言葉による伝え合い）